

整形外科学

主任教授 吉田宗人

教授 谷口泰徳

講師 山田宏 橋爪洋 南出晃人 中川幸洋

助教 西秀人 岩崎博 筒井俊二 宮崎展行 阿部唯一 遠藤徹 谷口隆哉

研究概要

当教室では脊椎・脊髄に関する基礎的・臨床的研究を中心に行っている。基礎研究は臨床との関連性を重視しており、これまでに電気生理学的脊髄モニタリング法の臨床応用、動物モデルを用いた腰部神経根性疼痛メカニズムの解明、細胞組織工学による椎間板再生、骨形成タンパクと人工骨の脊椎固定術への応用、パッチクランプ法による疼痛伝達路の解明及び脊髄前角細胞の電気生理学的作用の解明、脊柱靭帯骨化症に対する分子生物学的アプローチなどを行ってきた。長寿社会が達成された現在、人々は生活の質の改善を求めており、運動器疾患の治療と撲滅は最重要課題とされている。われわれはこの社会的要求に応えるべく、臨床面で現在、低侵襲手術の研究・開発にも力を注いでいる。また、形成外科・手の外科分野においても微小血管外科やキーンバック病に関する報告を数多く行っている。

以下にその詳細を列挙する。

1 脊椎外科に関連する基礎的並びに臨床的研究

- 脊椎内視鏡手術の技術開発と臨床応用に関する研究
- 脊椎内視鏡手術におけるナビゲーションシステムの応用に関する研究
- 脊柱靭帯骨化症関連遺伝子の解析
- 腰部脊柱管狭窄症の自然経過に関する疫学調査研究
- 腰椎椎間孔障害の補助診断法としての電気生理学的研究
- 脱出椎間板組織の吸収過程と神経因性疼痛の制御に関する研究
- 変性椎間板による神経因性疼痛発現機序とその制御に関する研究
- パッチクランプ法を用いた脊髄内痛覚伝導路に関する研究
- パッチクランプ法を用いた脊髄前角細胞に対する虚血負荷に対する検討
- パッチクランプ法を用いた運動ニューロンの電気生理学的作用の研究
- 焼成骨 (true bone ceramic, TBC) の脊椎固定材料としての有用性に関する研究
- 術中脊髄機能モニタリングに関する基礎的・臨床的研究

2 骨髄幹細胞による骨・靭帯・関節組織の再生に関する研究

- 培養椎間板細胞を用いた椎間板再生に関する研究
- 骨髄幹細胞を用いた脊椎固定術に関する研究
- 骨髄幹細胞を用いた靭帯再建術に関する研究

3 骨形成タンパク (OP-1) の臨床応用に関する研究

- 骨形成タンパクによる変性椎間板の再生と神経因性疼痛抑制に関する研究
- 骨形成タンパクによる脊椎固定術に関する研究

4 その他

- キーンバック病に関する臨床的研究
- マイクロサージェリーを用いた機能再建術に関する臨床的研究
- 小児上腕骨顆上骨折の装具療法の研究

著書

a) 学術

1. 山田 宏：Far-out 症候群に対する内視鏡下除圧術。「カラーアトラス脊椎・脊髄の外科」 山下敏彦編，中外医学社 東京， pp.332-340, 2012
2. 橋爪 洋、吉田宗人：運動療法はどのように行うのですか？「運動器の痛みをとる・やわらげるー現場で使えるペインコントロール」宗圓聡・紺野慎一編，メディカルレビュー社，東京52-255, 2012
3. 橋爪 洋：欧米における脊椎疾患の治療成績評価法。「JOABPEQ, JOACMEQ マニュアル」日本整形外科学会・日本脊椎脊髄病学会診断基準評価等委員会編，南江堂，東京55-58, 2012
4. 橋爪 洋、吉田宗人：腰部の疾患、腰痛、下肢のしびれ（痛み）の診療指針。「運動器診療 最新ガイドライン」中村耕三編，総合医学社，東京 pp567-570, 2012
5. 橋爪 洋、吉田宗人：第4章 頸椎装具・頸胸椎装具、ハローベスト (halo vest)。「臨床Up! Refresher Course 2 脊椎装具に強くなる! Basics & Tips」米延策雄・菊地臣一編，三輪書店，東京 pp38-42, 2012
6. 橋爪 洋、吉田宗人。第11章 運動器の評価、 3 . 主な疾患の診断と保存治療、③腰部脊柱管狭窄症。「ロコモティブ シンドローム」中村耕三編，メディカルレビュー社，東京22-130, 2012
7. 中川幸洋、吉田宗人：内視鏡下頸椎椎間孔拡大術。OS now instruction 頸椎の手術 ベーシックからアドバンス トまで必須テクニック」馬場 久敏、安田 和則、金谷 文則、岩本 幸英編、メジカルビュー社、東京、 pp118-127、 2012
8. 野村和教、吉田宗人：内視鏡下椎間板摘出術 (MED 法)。「写真とイラストでやさしく理解！病棟看護に生かせる整形外科手術の実際」飯田寛和編，メデिका出版、大阪， pp71-80, 2012.
9. 宮崎展行：-薬物療法 1) 医師の立場から -薬効からみた処方のポイント。「運動器の痛み プライマリケア 下肢の痛み」菊池臣一 編，南江堂，東京， pp16-17, 2012
10. 宮崎展行：-薬物療法 1) 医師の立場から -薬効からみた処方のポイント。「運動器の痛み プライマリケア 膝・大腿の痛み」菊池臣一 編，南江堂，東京， pp16-17, 2012

総説

1. 山田 宏：外側ヘルニア・狭窄に対する MED . Monthly Book Orthopaedics Vol.25 No.1:15-20,2012
2. 山田 宏：腰椎外側病変に対する脊椎内視鏡視下手術 . The SPINE perspectives Vol.9,No1.:11-14,2012
3. 山田 宏 吉田宗人：脊椎内視鏡手術の最近の進歩 . 臨整外 Vol.47 No10: 969-974, 2012
4. 山田 宏：腰椎椎間板ヘルニアにおける脊椎内視鏡下髄核摘出術 . 整形外科看護 Vol.17, No5: 72-75,2012
5. 橋爪 洋、西秀人、吉田宗人：特集 化膿性脊椎炎-治療期間短縮の戦略 . 化膿性脊椎炎に対する抗菌薬投与-起因菌不明や MRSA に対する戦略 . 脊椎脊髄ジャーナル25: 927-932, 2012
6. 中川幸洋：内視鏡下手術合併症防止のための工夫 Monthly Book Orthopaedics 25(1) : 61-69 , 2012
7. 中川幸洋、吉田宗人： Parkinson 病患者における腰椎変性疾患の手術成績 . 脊椎脊髄 1033-1038 , 2012
8. 中川幸洋：スポーツ障害 -腰痛編- 「腰椎椎間板ヘルニア」 . オルソタイムズ : 2012
9. 谷口 亘、吉田宗人、中塚映政：慢性疼痛の基礎的研究 脊髄メカニズム . Bone Joint Nerve 2(2) : 217-222, 2012
10. 石元優々：一般住民における腰部脊柱管狭窄症とその身体運動機能に及ぼす影響 akayama spine study . オルソタイムズ vol.6 no.4 , 2012

原著

1. Karasugi T, Nakajima M, Ikari K; Genetic Study Group of Investigation Committee on Ossification of the Spinal Ligaments, Tsuji T, Matsumoto M, Chiba K, Uchida K, Kawaguchi Y, Mizuta H, Ogata N, Iwasaki M, Maeda S,

- Numasawa T, Abumi K, Kato T, Ozawa H, Taguchi T, Kaito T, Neo M, Yamazaki M, Tadokoro N, Yoshida M, Nakahara S, Endo K, Imagama S, Demura S, Sato K, Seichi A, Ichimura S, Watanabe M, Watanabe K, Nakamura Y, Mori K, Baba H, Toyama Y, Ikegawa S.: A genome-wide sib-pair linkage analysis of ossification of the posterior longitudinal ligament of the spine. J Bone Miner Metab; Epub(2012)
2. Muraki S, Akune T, Ishimoto Y, Nagata K, Yoshida M, Tanaka S, Oka H, Kawaguchi H, Nakamura K, Yoshimura N.: Risk factors for falls in a longitudinal population-based cohort study of Japanese men and women: the ROAD Study. Bone.;Epub(2012)
 3. Muraki S, Akune T, Oka H, Ishimoto Y, Nagata K, Yoshida M, Tokimura F, Nakamura K, Kawaguchi H, Yoshimura N.: Incidence and risk factors for radiographic knee osteoarthritis and knee pain in Japanese men and women: a longitudinal population-based cohort study. Arthritis Rheum ;64(5):1447-56(2012)
 4. 貴志真也 , 岩淵和人 , 野村和教 , 左海伸夫 , 吉田宗人 : スポーツ復帰のための腰椎手術療法(内視鏡下椎間板摘出術 (MED 法) 後の超早期リハビリテーション・プログラム , 日本整形外科学会雑誌3):233-241(2012)
 5. 森信太郎 , 河合将紀 , 吉田宗人 , 橋爪洋 , 野村和教 , 岡嶋啓一郎 : MED を用いて治療したガス含有腰椎椎間板ヘルニアの 3 例 Journal of Spine Research, 3(8):1128-1132(2012)
 6. 長谷川徹 , 佐藤公昭 , 中村博亮 , 長谷川和宏 , 蜂谷裕道 , 松本守雄 , 吉本三徳 , 高橋和久 , 吉田宗人 (日本整形外科学会脊椎脊髄病委員会脊椎内視鏡下手術インシデントワーキンググループ) 脊椎内視鏡下手術の現状 2011 年 1 月 ~ 12 月手術施行状況調査・インシデント報告集計結果 , 日本整形外科学会雑誌6):724-729(2012)
 7. 岡安 勤、下園英史 : 脳性麻痺の股関節脱臼に対する変法プラス両股関節周囲筋解離術・ハムストリング延長術の一不成功例 . 日本脳性麻痺の外科研究会誌2:119-124,2012
 8. Ando M, Tamaki T, Kawakami M, Minamide A, Nakagawa Y, Maio K, Enyo Y, Yoshida M. : Electrophysiological diagnosis using sensory nerve action potential for the intraforaminal and extraforaminal L5 nerve root entrapment. Eur Spine J. 2012 Nov 24.
 9. 安藤宗治、玉置哲也、麻殖生和博、峠康、山崎悟、高見正成、太田泰宏、神埜聖治、佐々木俊二 : 頸椎椎弓形成術後 C5 麻痺は術中モニタリングで予防可能か . 脊髄機能診断学4:99,2012
 10. 伊藤全哉、松山幸弘、四宮謙一、安藤宗治、川茂徳、寒竹司、齊藤貴徳、高橋雅人、谷口慎一郎、山本直也、里見和彦、谷一 : 術中アラームポイントの策定及び総括 脊椎脊髄病学会モニタリング委員会による多施設調査 . 脊髄機能診断学33:116-123,2012
 11. 安藤宗治、玉置哲也、麻殖生和博、峠康 : 4 ロッドシステムを用いた後頭骨・頸椎・胸椎固定術の検討 . 日本脊髄障害医学会誌 25:156-157,2012
 12. 佐藤貴一、松本朋子、安藤宗治 : 陳旧性胸椎圧迫骨折による不全対麻痺患者に対する理学療法の実験 . 日本脊髄障害医学会誌 25:20-22,2012
 13. 安藤宗治 , 玉置哲也 , 松本卓二 , 麻殖生和博 , 神埜聖治 , 山中学 : 高齢者頸髄症に対する手術成績の検討 Journal of Spine Research3(3): 458, 2012
 14. 安藤宗治 , 玉置哲也 , 松本卓二 , 麻殖生和博 , 神埜聖治 , 山中学 : 頸椎椎弓形成術後上肢麻痺の脳電気刺激・筋誘発電位を用いた検討Journal of Spine Research3(3): 413, 2012
 - 15.

- 安藤宗治 , 玉置哲也 , 峠康 , 松本卓二 , 麻殖生和博 , 坂田亮介 , 宮本選 , 神埜聖治 , 山中学 , 佐々木俊二 : 脊椎手術における手術部位感染の対策 皮膚縫合は感染率を上昇させるか . 日本整形外科学会雑誌 86(2):S153, 2012
16.
安藤宗治 , 玉置哲也 , 峠康 , 松本卓二 , 麻殖生和博 , 坂田亮介 , 宮本選 , 神埜聖治 , 山中学 , 佐々木俊二 : 大脳刺激・筋誘発電位を用いた頸椎後方手術後上肢麻痺の検測整形外科学会雑誌 86(2):S148, 2012
17.
小林祥、松山幸弘、四宮謙一、川茂徳、~~安藤~~ 寒竹司、齊藤貴徳、高橋雅人、伊藤全哉、村本明生、藤原靖、和簡一郎、山田 圭、山本直也、里見和彦、谷俊一 : 脊椎脊髄手術の医療安全 術中脊髄モニタリングのアラームポイント 日本脊椎脊髄病学会モニタリング委員会報告 . 臨床整形外科:823-827,2012
18.
Yamada H, Yoshida M, Hashizume H, Minamide A, Nakagawa Y, Kawai M, Iwasaki H, Syunji Tsutsui: Efficacy of novel minimally invasive surgery using spinal microendoscope for treating extraforaminal stenosis at the lumbosacral junction. J Spinal Disord Tech, 25(5), 268-276 ,2012
19.
Watanuki A, Yamada H, Tsutsui S, En-yo Y, Yoshida M, Yoshimura N: Radiographic Features and Risk for Curve Progression of de novo Degenerative Lumbar Scoliosis in the Elderly. -A 15-Year Follow-up Study in a Community-based Cohort- Journal of Orthopaedic Science Volume17 No.5 2012: 526-531
20.
山田 宏 吉田宗人 橋爪 洋 南出晃人 中川幸洋 河合将紀 岩崎 博 筒井俊二 遠藤 徹 木岡雅彦 石元優々 長田圭司 瀧口登 籠谷良平 : L 5 - S 1 腰椎椎間孔部狭窄症の診断サポートツールの開発 .Journal of Spine Research Vol.3 No3:S222, 2012
21.
山田 宏 吉田宗人 橋爪 洋 南出晃人 中川幸洋 河合将紀 岩崎 博 筒井俊二 遠藤 徹 木岡雅彦 石元優々 長田圭司 瀧口登 籠谷良平 : 腰椎外側病変における脊椎内視鏡手術の峡部・椎間関節温存効果 . Journal of Spine Research Vol.3 No3:S244, 2012
22.
山田 宏 石元優々 長田圭司 瀧口 登 橋爪 洋 村木重之 岡 敬之 阿久根徹 吉村典子 吉田宗人 : 腰部脊柱管狭窄症の疫学 . 日整会誌 86(2), S200, 2012
23.
山田 宏 吉田宗人 橋爪 洋 南出晃人 中川幸洋 河合将紀 岩崎 博 筒井俊二 : 腰椎外側病変における脊椎内視鏡手術の峡部・椎間関節温存効果 日整会誌 86(3), S323, 2012
24.
山田 宏 岡 敬之 吉田宗人 岩崎 博 遠藤 徹 木岡雅彦 石元優々 長田圭司 瀧口登 籠谷良平 寺口真年 : L5-S1腰椎椎間孔狭窄症の診断サポートツールの開発日整会誌 86(3), S436, 2012
25.
橋爪 洋、吉田宗人、西秀人、山田宏、南出晃人 : 第 40回日本脊椎脊髄病学会優秀論文—化膿性脊椎炎による起因菌同定は治療経過に影響を及ぼしたか? .Journal of Spine Research 3: 1241-1246, 2012.
26.
松本卓二 , 安藤宗治 , 濱崎 広洋 : 脊椎脊髄疾患におけるガバペンチンおよびプレガバリンの有用性、副作用の検討 中部日本整形外科災害外科学会雑誌5(5):1127-1128,2012
- 27.

- 松本 卓二 , 西山 大介 , 寺口 真年 , 浜崎 広洋 : 大腿骨転子部骨折における髄内釘の術後sliding 量について、Gamma3、MultiFix、PFNA、InterTANにおける比較検討. 中部日本整形外科災害外科学会雑誌(4):717-718,2012
28.
松本 卓二 , 安藤 宗治 , 濱崎 広洋 : 脊椎脊髄疾患におけるガバペンチンおよびプレガバリンの有用性、副作用の検討. 中部日本整形外科災害外科学会雑誌5(5):1127-1128,2012
29.
松本 卓二 , 西山 大介 , 寺口 真年 , 浜崎 広洋 : 大腿骨転子部骨折における髄内釘の術後sliding 量について、Gamma3、MultiFix、PFNA、InterTANにおける比較検討. 中部日本整形外科災害外科学会雑誌(4):717-718,2012
30.
松本 卓二 , 安藤 宗治 , 浜崎 広洋 : 脊椎脊髄疾患におけるガバペンチンおよびプレガバリンの有用性と副作用の検討. 中部日本整形外科災害外科学会雑誌5巻春季学会 :169,2012
31.
松本 卓二 , 西山 大介 , 浜崎 広洋 : 大腿骨転子部骨折における髄内釘の術後スライディング量について Gamma3、MultiFix、PFNA、InterTANでの検討 . 中部日本整形外科災害外科学会雑誌5巻春季学会 : 38, 2012
32.
南出晃人 , 吉田宗人 , 筒井俊二 , 籠谷良平 , 山田宏 , 橋爪洋 , 中川幸洋 , 岩崎博 . : 腰椎変性側彎 発症メカニズムと治療 腰椎変性側彎を伴う腰部脊柱管狭窄症に対する内視鏡下除圧術の臨床成績 . 日関病誌 31(3): 340, 2012.
33.
南出晃人 , 吉田宗人 , 山田宏 , 橋爪洋 , 中川幸洋 , 岩崎博 : 高齢者の腰椎変性すべり症に対する内視鏡下除圧術の有用性の検討. 中部整災誌 55 (春季学会): 106, 2012.
34.
南出晃人 , 吉田宗人 , 河合将紀 , 山田宏 , 中川幸洋 , 岩崎博 : 脊柱靭帯骨化症の病態と手術 脊柱靭帯骨化症に対する低侵襲手術の応用 . 中部整災誌 55 (秋季学会): 68, 2012
35.
南出晃人 , 吉田宗人 , 野村和教 , 岡田基宏 , 左海伸夫 , 麻殖生和博 : 成長期腰部スポーツ障害の治療と予防 若年スポーツ選手の腰部椎体終板障害に対する脊椎内視鏡下手術臨床スポーツ医学会誌0(3): 405, 2012.
36.
南出晃人 , 吉田宗人 , 山田宏 , 橋爪洋 , 中川幸洋 , 河合将紀 , 岩崎博 , 筒井俊二 : 腰部脊柱管狭窄症に対する内視鏡下後方除圧術の長期臨床成績 変性すべり症の有無による比較検討 . 日整会誌 86(3): S323, 2012.
37.
南出晃人 , 吉田宗人 , 山田宏 , 橋爪洋 , 中川幸洋 , 河合将紀 , 岩崎博 , 筒井俊二 : 変性すべりに伴う腰部脊柱管狭窄症に対する内視鏡下後方除圧術の長期臨床成績の検討 Res 3(3): 478, 2012.
38.
南出晃人 , 吉田宗人 , 山田宏 , 橋爪洋 , 中川幸洋 , 河合将紀 , 岩崎博 , 筒井俊二 : 頸椎症性脊髄症に対する内視鏡下頸椎除圧術の中期臨床成績の検討 spine Res 3(3): 403, 2012.
39.
Kimura A, Seichi A, Hoshino Y, Yamazaki M, Mochizuki M, Aiba A, Kato T, Uchida K, Miyamoto K, Nakahara S, Taniguchi S, Neo M, Taguchi T, Endo K, Watanabe M, Takahashi M, Kaito T, Chikuda H, Fujimori T, Ito T, Ono A,

Abumi K, Yamada K, Nakagawa Y, Toyama Y : Perioperative complications of anterior cervical decompression with fusion in patients with ossification of the posterior longitudinal ligament: a retrospective, multi-institutional study Journal of Orthopaedic Science Volume 17, Issue 6 : pp 667-672 , November 2012

40.

中川幸洋、吉田宗人、山田宏、橋爪洋、南出晃人、西秀人、河合将紀、岩崎博、筒井俊二、遠藤徹、木岡雅彦：頸椎神経根に対する後方内視鏡下椎間孔拡大術の治療成績と問題点、その対策について．[日本整形学会誌](#)99, 2012

41.

中川幸洋：脊椎後方内視鏡手術と合併症 -とくに術後血腫とその対策について- . Journal of Spine Research 3(3), 245, 2012

42.

嶋田 亘、河合将紀、菊池 啓、齋藤政克、伊藤靖宣、辻本晴俊：超高齢者（ 90歳 ）頸髓症患者における内視鏡下頸椎椎弓切除術の経験．[中部整災誌](#) 55巻： pp. 19-20、2012

43.

岩崎博、吉田宗人、山田宏、橋爪洋、安藤宗治：腰椎椎間孔部狭窄症診断における浅腓骨神経感覚神経活動電位 (SNAP) の有用性と注意点．[整形・災害外科](#) 55 (8): 1021-1025, 2012

44.

岩崎博、吉田宗人、山田宏：腰椎外側病変に対する電気生理学的機能評価．[日本脊髄障害医学会雑誌](#) 25巻 1号： 130-131, 2012

45.

貴志真也、岩淵和人、野村和教、左海伸夫、吉田宗人：内視鏡下椎間板摘出術（MED法）後の超早期リハビリテーションプログラム．[整スポ会誌](#) 32(3), 233-241, 2012.

46.

Nomura K, Yoshida M : Microendoscopic decompression surgery for lumbar spinal canal stenosis via the paramedian approach: Preliminary results. [Global Spine J](#) 2(2), 87-94, 2012.

47.

坂田亮介 , 佐々木 俊二 , 安藤 宗治 , 峠 康 , 松本 卓二 , 宮本 選 , 神埜 聖治 , 山中学 : MPFL再建における Cannulated TJ スクリューを用いた靭帯固定の試み [JOSKAS](#)37(4): 338, 2012

48.

宮崎展行 , 南晋司 , 坂田亮介 , 谷口隆哉 , 峰巨 , 谷口亘 , 三宅悠介 , 岡田紗枝 , 中村憲太 , 吉田宗人 : 8 の字締結法を用いたDall 骨片固定法 . [日本人工関節学会誌](#)2 p279-280,2012

49.

[岡田基宏](#) , [中川幸洋](#) , [山田宏](#) , [南出晃人](#) , [岩崎博](#) , [吉田宗人](#) : 手術手技 私にくふう 超音波骨メスを用いて後方進入前方骨化巣切除術を行った胸椎分節型後縦靭帯骨化癩の[臨床整形外科](#) 47(7):625-630,2012

50.

Taniguchi W, Takiguchi N, Kaito Y, Nishio N, Kawasaki Y, Miyazaki N, Yoshida M, Nakatsuka T : Cellular mechanism of dopaminergic inhibitory descending pathway activated by electrical stimulation of A11 in the hypothalamus. [The Journal of Functional Diagnosis of the Spinal Cord](#) 33 : 30-35, 2012

51.

谷口亘、宮崎展行、南晋司、谷口隆哉、峰巨、三宅悠介、岡田紗枝、中村憲太、吉田宗人：超高齢者（ 80歳以上 ）人工膝置換術の術後 ADL 調査 . [日本人工関節学会誌](#)42: 233-234, 2012

52.

Kaito Y, Nishio N, Taniguchi W, Takiguchi N, Miyazaki N, Maenaka Y, Nakatsuka T, Yoshida M : In vivo patch-clamp

analysis of reactive oxygen species actions on excitatory synaptic transmission in spinal substantia gelatinosa neurons. The Journal of Functional Diagnosis of the Spinal Cord 33 : 18-23, 2012

53.

Nishio N, Taniguchi W, Sugiura Y, Takiguchi N, Kiyoyuki Y, Matsukawa S, Sakurai Y, Kawasaki Y, Nakatsuka T : Reactive oxygen species actions on excitatory synaptic transmission in spinal substantia gelatinosa neurons. Pain Reserch 27(3) : 143-152, 2012

54.

杉村弥恵、谷口亘、瀧口登、西尾尚子、松川すみ、中塚映齋帯状皮質電気刺激による脊髄後角ニューロンにおけるシナプス伝達の変調- in vivo パッチクランプ法による解析- . 日本運動器疼痛学会誌28-36, 2012

55.

峰巨 : 脊髄前角におけるニコチン性アセチルコリン受容体によるシナプス伝達制御機構 . 脊髄機能診断学 : 65-71 , 2012

56.

峰巨 : 大骨頭を用いた人工股関節再置換術の脱臼予防効果 101-102 , 2012

57.

Ishimoto Y, Yoshida M, Nagata K, Yamada H, Hashizume H, Yoshimura N. : Consuming breakfast and exercising longer during high school increases bone mineral density in young adult men. J Bone Miner Metab. 2012 Dec 22.

58.

Ishimoto Y, Yoshimura N, Muraki S, Yamada H, Nagata K, Hashizume H, Takiguchi N, Minamide A, Oka H, Kawaguchi H, Nakamura K, Akune T, Yoshida M. : Prevalence of symptomatic lumbar spinal stenosis and its association with physical performance in a population-based cohort in Japan: the Wakayama Spine Study. Osteoarthritis Cartilage 20(10):1103-8.2012 Oct

59.

Nishiyama D, Matsumoto T, Hamazaki H :The treatment of femoral neck fractures: results using cephalocervical screws with sliding mechanism. European Journal of Orthopaedic Surgery & Traumatology :Published online: 16 October 2012

60.

Nagata K, Yoshimura N, Muraki S, Hashizume H, Ishimoto Y, Yamada H, Takiguchi N, Nakagawa Y, Oka H, Kawaguchi H, Nakamura K, Akune T, Yoshida M : Prevalence of Cervical Cord Compression and its Association with Physical Performance in a Population-based Cohort in Japan: The Wakayama Spine Study. SPINE, 2012 Oct 15;37(22)

61.

長田圭司、橋爪 洋、山田 宏、南出晃人、中川幸洋、河合将紀、吉田宗人 : 腰部脊柱管狭窄症患者に見られる深部感覚障害についての臨床的研究 - 簡易型振動覚測定を用いて - 臨床整形外科、 2012

62.

福井大輔 , 川上 守 , 中尾慎一 , 森下詔子 , 松岡淑子 , 門阪泰憲 : 脊椎手術後患者に対するプレガバリンの有用性 前向き比較研究 . 中部日本整形外科災害外科学会雑誌5巻 5号 Page1129-1130,2012

63.

福井大輔 , 川上 守 , 中尾慎一 : L1/2 の椎間板ヘルニアによりL5 神経根症状を呈した 1 例 . 中部日本整形外科災害外科学会雑誌5巻 4号Page885-886,2012

64.

神埜 聖治 , 安藤 宗治 , 松本 卓二 , 麻殖生 和博 , 高見 正成 , 山中学 , 玉置 哲也 : 脊椎手術における手術部位感染の対策 真皮縫合のみとステープルを用いた皮膚縫合との比較 . Journal of Spine Research3(3):502, 2012

65.

浅井宣樹、谷口泰徳、下江隆司、吉田宗人：観血の手術を行なったtoe の 1 例 . 日足外会誌 33 : 209-211,2012

66.

浅井宣樹、谷口泰徳、下江隆司、吉田宗人：高齢者rly toe に合併した外反母趾の 1 例 . 中部整災誌 55 : 429-430,2012

67.

浅井宣樹、谷口泰徳、下江隆司、吉田宗人：四肢節に発生した粘液嚢腫の例 . 中部整災誌 55 : 1035-1036,2012

68.

Takiguchi N, Yoshida M, Taniguchi W, Hashizume H, Yamada H, Miyazaki N, Nishio N, Nakatsuka T : Distinct degree of radiculopathy at different levels of peripheral nerve injury. Mol Pain. 2012 Apr 26;8:31.

69.

瀧口登 , 岩崎博 , 南出晃人 , 中川幸洋 , 長田圭司 , 吉田宗人：腰椎除圧術後に発症したCrowned dens syndrome の 1 例、整形外種3巻 4 号 : 325-328,2012

70.

寺口真年、筒井俊二、前田孝弘、岩崎博、山田宏、吉田宗人：後頭骨-頸椎固定術後に嚙下障害を来たし中部日本整形外科災害外科学会雑誌 55: 212, 2012

71.

寺口真年、山田宏、河合将紀、筒井俊二、前田孝浩、吉田宗人：脊椎内視鏡手術でサルベージが可能であった難治性腰痛となされていた MOB の一例 . 臨床整形外科 47(12): 1255-1259, 2012

72.

寺口真年 , 松本卓二 , 西山大介 , 三宅悠介 , 浜崎広洋 : 激症型胸椎原発NK/T 細胞性リンパ腫の 1 例 . 臨床整形外科 47(2): 173-176,2012

73.

寺口真年 , 松本卓二 , 西山大介 , 浅井宣樹 , 下江隆司 , 浜崎広洋 : 強直性脊椎炎に伴う頸椎骨折に対し、切り絵法を応用した外側塊・椎弓根スクリューによる後方固定術を施行した 和歌山医学 63(3):127,2012

74.

[平一裕](#) , [松崎 文作](#) : 橈骨遠位骨端線損傷後 2 度の仮骨延長法を行った 例 . [日本小児整形外科学会雑誌](#)21(1) :57-61,2012

75.

山中学、谷口泰徳、浅井宣樹 辻本修平、吉田宗人：ガングリオンによる肩甲上神経麻痺の 1 例 . 中部整災誌 55 : 385-386,2012

76.

前田孝浩、谷口泰徳、岩橋弘樹、浅井宣樹、吉田宗人：副腱を伴った尺側手根伸筋腱断裂の中部整災誌 55 : 913-914,2012

77.

岩橋弘樹、谷口泰徳、坂田仁郎、辻本修平、吉田宗人：滑膜性腫瘤による手根管症候群の中部整災誌 55 : 381-382,2012

78.

原田悌志、谷口泰徳、浅井宣樹、山中学、吉田宗人：Cushing 症候群に合併したKienböck 病の 1 例 . 中部整災誌55: 989-990, 2012

その他の論文 (症例報告等)

1. 野村和教 : 日常診療を考える 内視鏡による整形外科手術 脊椎 (腰椎) 内視鏡手術 . 和歌山保険医新聞 (第 412 号、 3 ページ) , 2012.3.15 発行

学会報告

a) 国際学会

1. Munechito Yoshida: The double-crush syndrome of the 5th lumbar nerve as a cause of failed back surgery. International 30th Jubilee Course for Percutaneous Endoscopic Spinal Surgery And Complementary Minimal Invasive Techniques. Bethania Hospital, Zurich, Switzerland, January 26-27(2012)
2. Munechito Yoshida: The double-crush syndrome of the 5th lumbar nerve as a cause of failed back surgery. The 10th Annual Meeting ISS & 3rd ISMISS- Indonesian Chapter Aston Primera Hotel Bandung, Bundong, Indonesia, July 5-7, (2012)
3. Yamada H, Yoshida M, Hashizume H, Minamide A, Nakagawa Y, Kawai M, Iwasaki H, Tsutsui S: 3D-CT analysis on preservation of posterior elements after microendoscopic decompression surgery for lumbar foraminal stenosis. The International Society for the Study of the Lumbar Spine, 2012.5.28-6.1, Amsterdam
4. Yamada H, Hiroyuki Oka, Hiroshi Iwasaki, Toru Endou, Masahiko Kioka, Yuyu Ishimo, Keiji Nagata, Noboru Takiguchi, Yoshida M: Development of a support tool for clinical diagnosis of symptomatic lumbar foraminal stenosis. The International Society for the Study of the Lumbar Spine, 2012.5.28-6.1, Amsterdam
5. Hashizume H, Kawai M, Yamada H, Minamide A, Nakagawa Y, Iwasaki H, Tsutsui S, Ishimoto Y, Nagata K, Yosida M: A Tandem Spinal Endoscopic Operation for the Lumbar Spine. ISSLS meeting/ Spine Week 2012, 2012, May, Amsterdam
6. Hashizume H, Yamada H, Minamide H, Nakagawa Y, Nishi H, Kawai M, Iwasaki H, Tsutsui S, Ishimoto Y, Nagata K, Yoshida M: Did the Pathogen Identification Contribute to the Treatment Course in the Pyogenic Spondylitis? ISSLS meeting/ Spine Week 2012, 2012, May, Amsterdam
7. Hashizume H, Kawai M, Yamada H, Minamide A, Nakagawa Y, Iwasaki H, Tsutsui S, Yoshida M: A Tandem Spinal Endoscopic Operation for the Lumbar Degenerative Disease –State of the Art and Short Term Results. Spine Across the Sea 2012, 2012, July 30-August 2, Kauai
8. Hashizume H, Yoshimura N, Miyazaki N, Nagata K, Ishimoto Y, Yamada H, Minamide A, Nakagawa Y, Teraguchi M, Kagotani R, Yoshida M: The relationship between low back or knee joint pain and physical mobility in community-dwelling elderly. Golden Jubilee Congress of the Asia Pacific Orthopaedic Association. 2012, Oct, Delhi
9. Hashizume H, Kawai M, Yamada H, Minamide A, Nakagawa Y, Iwasaki H, Tsutsui S, Yoshida M: Tandem Spinal Endoscopic Operation for the Lumbar Spine. Golden Jubilee Congress of the Asia Pacific Orthopaedic Association. 2012, Oct, Delhi
10. Minamide A, Yoshida M, Yamada H, Hashizume H, Nakagawa Y, Kawai M, Iwasaki H, Tsutsui S. Long-term Clinical Outcomes After Microendoscopic Decompression Surgery for Lumbar Spinal Stenosis Including Degenerative Spondylolisthesis. 39th Annual Meeting of the International Society for the Study of the Lumbar Spine. Spine Week, May 28 - June 2, 2012, Amsterdam, The Netherlands.
11. Minamide A, Yoshida M, Yamada H, Hashizume H, Nakagawa Y, Kawai M, Iwasaki H, Tsutsui S. Comparative Study of Clinical Outcomes on Sagittal Balance After Decompression Surgery with or without Fusion for Degenerative Lumbar Spondylolisthesis. 4th Spine Across the Sea Meeting Jointly Supported by the North American Spine Society and the Japanese Society for Spine Surgery and Related Research. July 29-August 2, 2012, Kauai, Hawaii, USA.
- 12.

Nakagawa Y, Yoshida M, Yamada H, Hashizume H, Minamide A, Kawai M, Iwasaki H, Tsutsui S, Ishimoto Y, Nagata K, Kioka M :
Complications associated with cervical microendoscopic procedures for degenerative cervical diseases . 3rd Cervical Spine
Research Society –Asia Pacific, 2012. 4.21-22, Hakata, Fukuoka

13.

Nakagawa Y, Yoshida M, Yamada H, Hashizume H, Minamide A, Kawai M, Iwasaki H, Tsutsui S : Complications associated with
cervical microendoscopic laminoplasty(CMEL) for cervical myelopathy patients . The 22nd Japanese-Korean combined
Orthopaedic Symposium, June 7-9, Nikko, Tochigi

14.

Nakagawa Y, Yoshida M, Yamada H, Hashizume H, Minamide A, Kawai M, Iwasaki H, Tsutsui S : Perioperative complications
associated with cervical microendoscopic laminoplasty(CMEL) for cervical myelopathy patients . 2012 Annual meeting of the
society for minimally invasive spine surgery, 21-23, Sept, Miami, USA

15.

Minami S, Miyake Y, Nakamura Y, Kinoshita H, Yoshida M : Lipoma arborescens arising in the extra-articular bursa of the knee
joint . 17th Congress of the Asia Pacific Orthopaedic Association, 3 - 6 October 2012, New Delhi, India

16.

Minami S, Miyazaki N, Taniguchi T, Mine N, Miyake Y, Kinoshita H, Yoshida M : Changes in acetabular cup orientation with pelvic tilt
in total hip arthroplasty . 17th Congress of the Asia Pacific Orthopaedic Association, 3 - 6 October 2012, New Delhi, India

17.

Tsutsui S, Yamada H, Hashizume H, Minamide A, Nakagawa Y, Kawai M, Iwasaki H, Kagotani R, Teraguchi M, Yoshida M. : How many
motor pathways to the target muscle can be monitored by transcranial motor evoked potentials during spinal surgery? 19th
International Meeting on Advanced Spine Techniques 2012. Jul. 18-21, Istanbul, Turkey

18.

Tsutsui S, Yamada H, Hashizume H, Minamide A, Nakagawa Y, Kawai M, Iwasaki H, Yoshida M. : Foraminal dimensions in patients
with degenerative lumbar scoliosis and radiculopathy due to foraminal stenosis. 19th International Meeting on Advanced Spine
Techniques 2012. Jul. 18-21, Istanbul, Turkey

19.

Tsutsui S, Watanuki A, Yamada H, Nagata K, Ishimoto Y, Enyo Y, Yoshimura N, Yoshida M. : Risk factors and natural history of de novo
degenerative lumbar scoliosis in a community based cohort: The Miyama Study. Spine Across the Sea 2012. Jul. 29- Aug. 2, Kauai,
Hawaii, USA

20.

Nakane Y, Nakaima N, Shibahara M, Hatayama D, Iwasaki M : Advantages and clinical results of Minimally Invasive Plate
Osteosynthesis of the proximal humeral fracture (* AO classification 11-B type), using Proximal Humeral Internal Locking
System . The 1st AOTrauma Asia Pacific Scientific Congress“Trauma Management – the Global Perspectives” 2012.5.12
Hong Kong

21.

Miyazaki N, Minami S, Sakata R, Taniguchi T, Taniguchi W, Mine N, Miyake Y, Yoshida M : Intraoperative surveillance of
contamination does not predict deep prosthetic infection . The 59th Annual Meeting of the Orthopaedic Research Society,
2012.2.4-7, San Francisco

22.

Mine N, Yoshida M, Taniguchi W, Nishio N, Abe T, Takiguchi N, Miyazaki N, Nakatsuka T : Synaptic modulation in spinal motoneurons
by activation of nicotinic acetylcholine receptors. Society For Neuroscience, 2012.10, New Orleans

23.

Ishimoto Y, Yamada H, Yoshida M. et al : The relation between radiographic lumbar spinal stenosis and symptomatic persons in the general population -The Wakayama Spine Study- アジア環太平洋整形外科学会(APOA)

24.

Ishimoto Y, Yamada H, Yoshida M. et al : The association between radiographic lumbar spinal stenosis and symptom in the general population -The Wakayama Spine Study- 日韓整形シンポジウム

25.

Nagata K, Yoshimura N, Muraki S, Hashizume H, Yamada H, Ishimoto Y, Yoshida M : The Prevalence of Cervical Cord Compression Using Mobile MRI in Local Inhabitants AAOS 2012 SanFrancisco, USA,February 9, 2012

26.

Nagata K, Yoshimura N, Muraki S, Hashizume H, Yamada H, Ishimoto Y, Yoshida M : Can asymptomatic cervical cord compression associate with physical performance? CSRS-AP 2012, Hukuoka, Japan, April 22, 2012

27.

Nagata K, Yoshimura N, Muraki S, Hashizume H, Yamada H, Ishimoto Y, Yoshida M : THE ASSOCIATION BETWEEN LEVEL OF CERVICAL CORD COMPRESSION AND PHYSICAL PERFORMANCE IN A POPULATION-BASED STUDY. CSRS-ES 2012, Amsterdam, Nederland, 28 May - 1 June, 2012

28.

Daisuke F, Mamoru K, Schin-ichi N : A pain related behavior and intervertebral disc degeneration after lumbar facetectomy in the rat. - An animal model for degenerative disc disease - . ORS 2012 Annual Meeting of the Orthopaedic Research Society, 2012.2, San Francisco

29.

Daisuke F, Mamoru K, Schin-ichi N : A new animal model of degenerative disc disease seen in human. ISSLS 39th International Society for the study of the Lumbar Spine, 2012.5, Amsterdam

30.

Asai Y, Taniguchi Y, Shimoe T, Yoshida M : Two Cases of Entrapment Neuropathy of Sural Nerve , The 22nd Japanese-Korean Combined Orthopaedic Symposium , 2012.6.8 Nikko, Tochigi

31.

Kagotani R, Tsutsui S, Yamada H, Hashizume H, Minamide A, Nakagawa Y, Kawai M, Iwasaki H, Nagata K, Ishimoto Y, Yoshida M. : Can decompression surgery relieve low back pain in patients with lumbar spinal stenosis combined with degenerative lumbar scoliosis? 19th International Meeting on Advanced Spine Techniques 2012. Jul. 18-21, Istanbul, Turkey

32.

Teraguchi M, Hashizume H, Yamada H, Ishimoto Y, Nagata K, Minamide A, Nakagawa Y, Yoshimura N, Yoshida M: Unique IDD distribution and pattern in the spinal column: -Prevalence of thoracic IDD and its association with degeneration at other spinal levels-

33.

34.

Golden Jubilee Congress of The Asia pacific Orthopaedic Association, 2012. 10, New Delhi, India

b) シンポジウム , 学術講演等

1. Munehito Yoshida: Advances in Endoscopic Surgery. The 22th Japanese-Korean Combined Orthopaedic Symposium, Nikko Senhime Monogatari Inn, Nikko, Tochigi, Japan, June 7-8(2012.6)
2. Munehito Yoshida: Lumbar Canal Stenosis- Management Strategies. The 10th Annual Meeting ISS & 3rd ISMISS- Indonesian

Chapter Aston Primera Hotel Bandung, Bundong,Indonesia, July 5-7,(2012)

3. Munehito Yoshida: Workshop on Thoraco Lumbar Fixation; Lumbar Pedicle Screw. The 10th Annual Meeting ISS & 3rd ISMISS- Indonesian Chapter Aston Primera Hotel Bandung, Bundong,Indonesia, July 5-7,(2012)
4. 吉田宗人：MED 法の手術手技—その進歩と治療戦略— 第 15 回日本内視鏡低侵襲脊椎外科学会学術集会 .2012.11. 神戸市
5. 吉田宗人：超音波骨メスを用いた脊椎内視鏡手術の実際 第 8 回岡山関節鏡・内視鏡研究会012.2. 岡山プラザホテル, 岡山市
6. 吉田宗人：腰部脊柱管狭窄症に対する手術手技の実際 第 29 回東京整形外科手術フォーラム2012.2. ホテルメトロポリタンエドモント東京, 東京都
7. 吉田宗人：椎間孔狭窄症の診断と内視鏡的治療 5th MISS Summit Forum.2012.3 愛知県丹羽郡
8. 吉田宗人：腰椎椎間孔狭窄の診断と内視鏡手術 第 52 回浜松整形外科セミナー-2012. オークラクトシティ浜松 浜松市
9. 吉田宗人：腰部脊柱管狭窄症—疫学・経過を踏まえた治療法の選択-2012.4. 第 41 回日本脊椎脊髄病学会学術集会 石橋文化会館, 久留米市
10. 吉田宗人：脊椎内視鏡手術の最近の知見 第 85 回日本整形外科学会学術総会012.5 国立京都国際会館 京都市
11. 吉田宗人：腰椎椎間孔狭窄の診断と内視鏡手術 第 6 回山梨大学整形外科セミナー,2012.11. アビオ甲府, 山梨市
12. 安藤宗治、玉置哲也、峠 康、神埜聖治：脊髄モニタリング頸髄腫瘍形成術後C5麻痺の術中モニタリング及び麻痺の危険因子の検討 . 第 42 回日本臨床神経生理学会学術大会,2012.11. 東京
13. 小林祥、松山幸弘 四宮謙一、川茂徳、安藤宗治、伊藤全哉 齊藤真徳、谷口真一郎、山本直也 里見和彦、谷俊一：脊髄モニタリングの諸問題 多施設前向き研究による術中脊髄モニタリング (Br-MsEP) のアラームポイント . 第2回日本臨床神経生理学会学術大会,2012.11. 東京
14. 安藤宗治：骨粗鬆症性脊椎圧迫骨折の診断と治療 . 河北地区病診連携の会 和歌山市
15. 安藤宗治：脊椎疾患における疼痛の診断と治療 . 紀ノ川痛みのフォーラム 和歌山市
16. 山田 宏 石元優々 長田圭司 瀧口 登 橋爪 洋 村木重之 岡 敬之 阿久根徹 吉村典子 吉田宗人：腰部脊柱管狭窄症の疫学 . 第 85 回日本整形外科学会学術総会 ,2012.5.17-20 , 京都
17. 山田 宏 吉田宗人 橋爪 洋 南出晃人 中川幸洋 河合将紀 岩崎 博 筒井俊二 遠藤 徹 木岡雅彦 石元優々 長田圭司 瀧口登 籠谷良平：L 5 - S 1 腰椎椎間孔部狭窄症の診断サポートツールの開発 第 1 回日本脊椎脊髄病学会2012.4.19-21 , 久留米市
18. 山田 宏 吉田宗人 橋爪 洋 南出晃人 中川幸洋 西 秀人 岩崎 博 筒井俊二 延與良夫 遠藤 徹 木岡雅彦 石元優々 瀧口登 籠谷良平 寺口真年：脊椎内視鏡の現状と未来 . 第 18 回日本最小侵襲整形外科学会2012.11.16-17, 奈良市
19. 山田 宏：腰痛診療の秘訣 - 腰椎手術を失敗しないための新知見 - . 第 25 回日本臨床整形外科学会学術集会 ランチオンセミナー 2012.7.16 神戸市
20. 山田 宏：市民公開講座 良い腰痛と悪い腰痛の見分け方 . 2012.7.28, 和歌山市
- 21.

山田 宏：腰部脊柱管狭窄症の疫学 . 和歌山市整形外科科学術講演会 2012.10.17, 和歌山市

22.

山田 宏：腰椎椎間孔部障害の診断学 . 第 115 回和歌山臨床整形外科医会研修会2012.11.17, 和歌山市

23.

橋爪 洋：腰痛とその予防について—健康長寿を目指すために . 和歌山県高齢者運動器疾患予防対策事業紀美野町, 3月紀の川市, 7月湯浅町, 10月御坊市, 12月由良町, 12月美浜町

24.

南出晃人, 吉田宗人, 河合将紀, 山田宏, 中川洋, 岩崎博：脊柱靱帯骨化症の病態と手術 脊柱靱帯骨化症に対する低侵襲手術の応用 . 第 119 回中部日本整形外科災害外科学術集会012. 10. 5-6. 福井市

25.

南出晃人, 吉田宗人, 筒井俊二, 籠谷良平, 山田宏, 橋爪洋, 中川幸洋, 岩崎博：腰椎変性側彎発症メカニズムと治療 腰椎変性側彎を伴う腰部脊柱管狭窄症に対する内視鏡下除圧術の臨床成績 日本関節病学会 .2012. 11. 8-9. 鹿児島市

26.

南出晃人, 吉田宗人, 山田宏, 橋爪洋, 中川幸洋, 岩崎博, 筒井俊二 of the art 内視鏡脊椎手術-脊柱管狭窄症とすべり症 腰部脊柱管狭窄症に対する内視鏡下後方除圧術の長期臨床成績-変性すべり症の有無別の比較検討 日本内視鏡低侵襲脊椎外科学会 2012. 11. 23-24. 神戸市

27.

Akihito Minamide : Instructional Course Lecture . 17th Cervical Spinal Research Society Instructional Course Lecture. Surgical Technique – Posterior Microendoscopic Laminoplasty. 2012. 12. 5. Chicago, IL, USA.

28.

南出晃人：骨粗鬆症に対する治療薬 最近の知見と展望 . 和歌山市薬剤師会研修会講演 2012. 2.16. 和歌山市

29.

南出晃人：慢性疼痛教育プログラムJPAT に関して . 和歌山県運動器疾患疼痛講演会012. 8. 9. 和歌山市

30.

南出晃人：頸椎後方手術における工夫-頸椎疾患に対する脊椎内視鏡手術の手技と安全性 anterior cervical Seminar. 2012.10.13. 東京

31.

南出晃人：慢性疼痛治療の基礎知識-薬物療法を中心に J-PAT Practical Approach. 2012. 11.10. 和歌山市

32.

南出晃人：整形外科疾患における痛みとその治療について . 伊都医師会集談懇話会 . 2012.12.19. 橋本市

33.

南出晃人：「脊椎8 頸椎椎 3」座長 . 第 119 回中部日本整形外科災害外科学術集会012. 10. 5-6. 福井市

34.

南出晃人：「一般演題 7 腰部脊柱管狭窄症」座長 . 第5回日本内視鏡低侵襲脊椎外科学会2012. 11. 23-24. 神戸市

35.

Nakagawa Y, Yoshida M, Yamada H, Hashizume H, Minamide A, Kawai M, Iwasaki H, Tsutsui S : Cervical microendoscopic laminoplasty(CMEL) in myelopathy patients-postoperative regression of herniated/bulged disc- . The 22nd Japanese-Korean combined Orthopaedic Symposium, June7-9, Nikko, Tochigi

36.

中川幸洋：頸部脊髄症・神経根症に対する外科的治療のパラダイム 頸椎内視鏡手術のインパクト - ,2012.2.18 ホテルグランヴィア和歌山

37.

中川幸洋：教育講演 2 脊椎後方内視鏡手術と合併症-とくに術後血腫とその対策について - . 第 41 回日本脊椎脊髄病学会 2012.4.19 .

久留米市

38.

中川幸洋：腰椎変性側弯症．Adult Lumbar Deformity Meeting, 2012.5.19．京都市

39.

中川幸洋：腰椎椎間板ヘルニアに対する内視鏡下椎間板ヘルニア摘出術のポイント．第3回和歌の浦低侵襲脊椎外科セミナー
2012.6.23．和歌山市

40.

中川幸洋：脊柱靭帯骨化症－病態と治療、日常生活で気をつけることについて－．脊柱靭帯骨化症 研修会交流会, 和歌山市

41.

中川幸洋：腰椎脊椎内視鏡下手術のコツとピットフォール技術認定医試験合格を目指して－．第18回日本最少侵襲整形外科学会
日整会 脊椎内視鏡下手術・技術認定制度教育セミナー, 2012.11.16．奈良市

42.

中川幸洋：脊椎脊髄手術における周術期管理のピットホールと対策．和歌山整形外科周術期管理セミナー2012.11.17．和歌山市

43.

南 晋司：日常診療に必要な骨関節疾患の診断と治療．第44回和歌山市医師会内科部会総会2012.4.21, 和歌山市

44.

南 晋司：関節リウマチに対する治療．那賀病診連携, 2012.11.10, 岩出市

45.

南 晋司：関節リウマチの治療．第5回河北整形外科カンファレンス2012.12.1, 和歌山市

46.

野村和教：わかりやすい腰痛のはなし～神経障害性疼痛と保存療法の限界～．和歌山県医師会内科医会 Meet the Specialist 痛みについて
考える会, 2012.10.20, 和歌山市

47.

筒井俊二、吉田宗人、山田宏、橋爪洋、南出晃人、中川幸洋、岩崎博、木岡雅彦、石元優々、長田圭司、瀧口登、寺口真年、籠谷良平：
12th Advanced Technologies in Spinal Treatment 2012. Aug. 25-26, Tokyo, Japan

48.

中根康博：スポーツ外傷・障害の予防と治療．「きのくに医・科学サポート事業」医科学セミナー 和歌山県スポーツ競技団体指導者教育講
演, 2012.3.20 和歌山

49.

中根康博：ラグビー指導者に求められる外傷対策．和歌山ラグビー協会主催指導者講習会5, 和歌山

50.

中根康博：ラグビー競技に対する医学的安全対策．和歌山ラグビー協会主催セーフティーアシスタント講習会, 和歌山

51.

中根康博：肩の痛みは五十肩？．和歌山県市民公開講座2, 7.28 和歌山

52.

中根康博：スポーツ指導者に必要な医学的知識．日本体育協会主催 和歌山県スポーツ指導者講習会, 2012.10.28 和歌山市

53.

中根康博：スポーツ指導者に必要な医学的知識．日本体育協会主催 和歌山県スポーツ指導者講習会 2012.11.18 田辺市

54.

宮崎展行：外傷・関節手術における周術期管理のピットホールと対策．和歌山整形外科周術期管理セミナー2012.11.17．和歌山市

55.

宮崎展行 峰巨: 院内発生骨折の傾向と対策. 和歌山県立医科大学医療安全講習会 2012.3 . 12 . 和歌山市

56.

谷口亘、吉田宗人、中塚映政 痛み研究の最前線 慢性痛分子メカニズム 慢性疼痛における脊髄シナプス伝達の可塑性 . 第 27 回日本整形外科学会基礎学術集会 , 2012. 10 名古屋

57.

谷口亘、中塚映政 脊髄由来の難治性疼痛病態解明と各種治療法 脊髄後角における慢性疼痛の発生機序について 47 第 10 回日本脊髄障害病医学会 , 2012. 10 静岡

58.

谷口亘、松村伸治、伊藤誠二、中塚映政 痛みを可視化する 脊髄後角神経細胞のリアルタイムイメージング. 第 5 回日本運動器疼痛学会 , 2012. 11 東京

59.

石元 優々: 腰痛・膝痛・サプリメントのおはなし. 寒川小学校

c) 全国学会

1. 谷口泰徳、吉田宗人: Kienbock 病に対する治療戦略; 保存療法はどうして有効なのか 85 第 10 回日本整形外科学会 , 2012.5.17 . 京都

2. 谷口泰徳、下江隆司、浅井宣樹、吉田宗人: 上腕三頭筋内側頭と尺骨神経の脱臼を伴った肘部管症候群 24 第 10 回日本肘関節学会学術集会 , 2012.2.18 . 新潟県長岡市

3. 谷口泰徳、下江隆司、吉田宗人: 手根管開放術従来法における再手術症例の検討 10 第 10 回日本形成外科学会学術集会 , 2012.4.11-13 . 東京

4. 谷口泰徳、下江隆司、吉田宗人: 外反母趾を合併 Curly toe の 1 例 . 第 55 回日本形成外科学会学術集会 , 2012.4.11-13 . 東京

5. 谷口泰徳、下江隆司、山中 学、辻本修平、吉田宗人: 手根管開放術の合併症からみた ECTR と OCTR の問題点 . 第 55 回日本手外科学会学術集会 2012.4.19-20 . 横浜市

6. 谷口泰徳、下江隆司、辻本修平、山中 学、浅井宣樹、吉田宗人: 上腕三頭筋内側頭と尺骨神経の脱臼を伴った肘部管症候群 10 第 10 回日本手外科学会学術集会 , 2012.4.19-20 . 横浜市

7. 岡安 勤: 月出法を行った先天性内反足の長期治療成績 . 第 23 回日本小児整形外科学会 012.11. 福岡市

8. 安藤宗治、玉置哲也、松本卓二、麻殖生和博、高見正成、神埜聖治、山中学: 頸椎椎弓形成術後上肢麻痺の脳電気刺激・筋誘発電位を用いた検討 . 第 41 回日本脊椎脊髄病学会 2012.4. 久留米

9. 安藤宗治、玉置哲也、松本卓二、麻殖生和博、高見正成、神埜聖治、山中学: 高齢者頸髄症に対する手術成績 10 第 10 回日本脊椎脊髄病学会 , 2012.4. 久留米

10.

小林祥、松山幸弘、四宮謙一、川茂徳、宗埜 寒竹司、齊藤貴徳、高橋雅人、伊藤全哉、村本明生、藤原靖、和簡圭郎 山本直也、里見和彦、谷俊一、日本脊椎脊髄病学会 脊髄モニタリングワーキンググループ 70% 低振幅アラームポイントとした術中脊髄モニタリング 多施設前向き研究 . 第 41 回日本脊椎脊髄病学会 2012.4. 久留米

11.

安藤宗治 玉置哲也、峠 康、松本卓二、坂田亮介、宮本選、神埜聖治、山中学、佐々木俊二: 脳刺激・筋誘発電位を用いた頸椎後方手術後上肢麻痺の検討 . 第 35 回日本整形外科学会 , 2012.5 . 京都

12.

安藤宗治 玉置哲也、峠 康、松本卓二、坂田亮介、宮本選、神埜聖治、山中学、佐々木俊二: 脊椎手術における手術部位感染の対策 - 皮膚縫合は感染率を上昇させるか? - . 第 10 回日本整形外科学会 2012.5. 京都

13.

- 小林祥、松山幸弘、四宮謙一、川茂徳、安藤宗治、伊藤全哉、齊藤真徳、谷口慎一郎、山本直也、里見和彦、谷俊一：多施設前向き研究による術中脊髄モニタリング (Br-MS-EP) のアラームポイント。第5回日本整形外科学会2012.5. 京都
14.
山田 宏、吉田宗人、橋爪 洋、南出晃人、中川幸洋、河合将紀、岩崎 博、筒井俊二、遠藤 徹、木岡雅彦、石元優々、長田圭司、瀧口登、籠谷良平：腰椎外側病変における脊椎内視鏡手術の峡部・椎間関節温存効果。第85回日本脊椎脊髄病学会2012.4.19-21，久留米市
15.
山田 宏、吉田宗人、橋爪 洋、南出晃人、中川幸洋、河合将紀、岩崎 博、筒井俊二、遠藤 徹、木岡雅彦、石元優々、長田圭司、瀧口登、籠谷良平、寺口真年：腰椎外側病変における脊椎内視鏡手術の峡部・椎間関節温存効果。第85回日本整形外科学会学術総会2012.5.17-20，京都
16.
山田 宏、吉田宗人、橋爪 洋、南出晃人、中川幸洋、河合将紀、岩崎 博、筒井俊二、遠藤 徹、木岡雅彦、石元優々、長田圭司、瀧口登、籠谷良平、寺口真年、岡 敬之：L5-S1 腰椎椎間孔狭窄症の診断サポートツールの開発。第85回日本整形外科学会学術総会2012.5.17-20，京都
17.
山田 宏、吉田宗人、橋爪 洋、南出晃人、中川幸洋、西 秀人、岩崎 博、筒井俊二、遠藤 徹、木岡雅彦、石元優々、瀧口登、籠谷良平、寺口真年：横突起・椎弓根尾側切除法 - 腰椎外側病変に対する新しいアプローチ -。第15回日本内視鏡低侵襲脊椎外科学会2012.11.23-24，神戸
18.
橋爪洋、吉村典子、宮崎展行、長田圭司、石元優々、山田宏、南出晃人、中川幸洋、吉田宗人：地域在住高齢者における腰痛、膝痛、骨症と運動機能の関係。第5回日本整形外科学会学術総会 2012.5. 京都
19.
橋爪洋、吉村典子、山田宏、南出晃人、中川幸洋、河合将紀、岩崎博、筒井俊二、長田圭司、石元優々、吉田宗人：脊椎脊髄外科指導医の地域医療における役割。脊椎脊髄外科指導医からみたロコモティブシンドローム—地域住民における横断研究の結果より—。第85回日本脊椎脊髄病学会2012.4. 久留米
20.
橋爪洋：口演主題 運動器リハビリテーションの実際と高齢者運動器疾患予防体操プログラムの開発と腰痛改善効果の検証。第85回日本臨床整形外科学会学術集会・関西2012.7. 神戸
21.
南出晃人、吉田宗人、山田宏、橋爪洋、中川幸洋、河合将紀、岩崎博、筒井俊二：腰部脊柱管狭窄症に対する内視鏡下後方除圧術の長期臨床成績。変性すべり症の有無による比較検討。第85回日本整形外科学会学術総会2012.5.17-20. 京都市
22.
南出晃人、吉田宗人、山田宏、橋爪洋、中川幸洋、河合将紀、岩崎博、筒井俊二：変性すべりに伴う腰部脊柱管狭窄症に対する内視鏡下後方除圧術の長期臨床成績の検討。第41回日本脊椎脊髄病学会。2012.4.19-21. 久留米市
23.
南出晃人、吉田宗人、山田宏、橋爪洋、中川幸洋、河合将紀、岩崎博、筒井俊二：頸椎症性脊髄症に対する内視鏡下頸椎除圧術の中期臨床成績の検討。第41回日本脊椎脊髄病学会。2012.4.19-21. 久留米市
24.
南出晃人、吉田宗人：前向き研究による腰椎変性すべり症に対する非固定術（内視鏡下後方除圧術）の長期臨床成績の検討。第41回日本脊椎脊髄病学会。2012.11.1-2. 神戸市
25.
中川幸洋、吉田宗人、山田宏、橋爪洋、南出晃人、西秀人、河合将紀、岩崎博、筒井俊二、遠藤徹、木岡雅彦：頸椎神経根症に対する後

視鏡下椎間孔拡大術の治療成績と問題点、その対策について 85回 第85回日本整形外科学会学術総会、2012.5.20 . 京都

26.

中川幸洋、吉田宗人、山田宏、橋爪洋、南出晃人、西秀人、河合将紀、岩崎博、筒井俊二、遠藤徹、石元優々：頸髄症に対する後方内視鏡手術 (CMEL)の周術期合併症と対策、第10回日本内視鏡低侵襲脊椎外科学会012.11.23-24 . 神戸

27.

南 晋司、宮崎展行、三宅悠介、峰 巨、谷口 亘、吉田宗人：人工股関節全置換術後の臥位立位に伴う臼蓋カップ設置角度の変化 . 第85回日本整形外科学会学術総会 ,2012.5.17-20 . 京都市

28.

南 晋司、中谷如希、坂田亮介、宮崎展行、三宅悠介、峰 巨、谷口 亘、吉田宗人：人工股関節全置換術後の臥位立位に伴う臼蓋カップ設置角度変化の検討 . 第42回日本人工関節学会 , 2012.2.24-25 . 沖縄県宜野湾市

29.

南 晋司 三宅悠介 宮崎展行 谷口隆雄 峰口亘 吉田宗人：膝関節外側滑液包より発生した樹枝状脂肪腫の1例 . 日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会2012.7.19-21 . 沖縄県宜野湾市

30.

河合将紀 吉田宗人、山田宏 橋爪洋 南出晃人、中川幸洋、岩崎博、野村和教、筒井俊二、岡田基弘、中尾慎一、木岡雅彦：胸椎黄色軟骨化症に対する内視鏡下骨化摘出術の中期成績 4第10回日本脊椎脊髄病学会 2012.4.19-21 . 久留米

31.

河合将紀、野村和教、岡田基弘、吉田宗人、中尾慎一、寺 腰高 腰高 椎管狭窄症多椎間病変に対するRETExシステムを用いた両側同時内視鏡下椎弓切除術の経験 第25回日本臨床整形外科学会2012.7.15-16 . 神戸

32.

田邊史、吉田宗人、山田宏、橋爪洋、南出晃人、中川幸洋、河合将紀、岩崎博、石堂康弘、小宮節郎：腰椎後方固定術後の椎間孔部狭窄 (L5-S1)に対する内視鏡下後方除圧手術の小経験 15回日本内視鏡低侵襲脊椎外科学会012.11.23-24 . 神戸

33.

岩崎博、吉田宗人、安藤宗治、山田宏、橋爪洋、南出晃人、中川幸洋、河合将紀、筒井俊二、遠藤徹、寺口真年：浅腓骨神経感覚神経活動電位の腰椎椎間孔部狭窄症診断における有用性 . 日本整形外科学会 第85回学術集会 , 2012.5. 京都

34.

岩崎博、吉田宗人、安藤宗治、山田宏、橋爪洋、南出晃人、中川幸洋、河合将紀、筒井俊二、遠藤徹、木岡雅彦、石元優々、長田圭司、登、籠谷良平、寺口真年：腰椎椎間孔部狭窄症診断における浅腓骨神経感覚神経活動電位 (SPN-SNAP) の特性およびその有用性 . 日本脊椎脊髄病学会 第41回学術集会 , 2012.5. 久留米

35.

岩崎博、吉田宗人、山田宏、橋爪洋、南出晃人、中川幸洋、西秀人、筒井俊二、遠藤徹、石元優々 神経根重複病変に対する脊椎内視鏡による同時進行手術 . 日本内視鏡低侵襲脊椎外科学会 第15回学術集会 ,2012.11. 神戸

36.

野村和教、吉田宗人、河合将紀、岡田基宏、中尾慎一：腰部脊柱管狭窄症に対する内視鏡下傍正中遊離法 () の臨床成績について . 第15回日本内視鏡低侵襲脊椎外科学会2012.11.23-24, 神戸市 .

37.

坂田亮介、佐々木 俊二 , 安藤 宗治 , 峠 康 , 松本 卓二 , 宮本 選 , 神埜 聖治 , 山中学 : MPFL 再建における Cannulated TJ スクリューを用いた靭帯固定の試み 4 第10回日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会2012.7.20. 沖縄

38.

筒井俊二、山田宏、橋爪洋、南出晃人、中川幸洋、河合将紀、岩崎博、木岡雅彦、石元優々、長田圭司、瀧口登、寺口真年、籠谷良平、吉田宗人：腰椎々間孔狭窄による神経根障害を来した腰椎変性側弯症患者における椎間孔の形態学的特徴 第10回日本脊椎脊髄病学会、2012.4. 久留米市

39.

宮崎展行 谷口隆哉 峰巨 三宅悠介 阿部唯一 岩橋弘樹 曾根勝真弓 吉田宗人：骨盤固定器に連動させた THA カップアライメントガイドの有用性 . 第39回日本股関節学会2012.12.7-8. 新潟市

40.

宮崎展行 南晋司 谷口隆哉 峰巨 谷口亘 三宅悠介 吉田宗人：stem と AMT の回旋抵抗力の比較 . 第2回日本整形外科学会基礎学術集会, 2012.10.26-27. 名古屋市

41.

宮崎展行 橋爪洋 吉村典子 長田圭司 石元優々 吉田宗人：DVD を用いた体操プログラムが膝痛とロコモティブシンドロームに及ぼす影響 . 第 4 回 JOSKAS, 2012.7.17-20. 宜野湾市

42.

宮崎展行 南晋司 谷口隆哉 峰巨 谷口亘 三宅悠介 吉田宗人：THA における大径骨頭は日常生活に有利か？-術後アンケートを用いた検討 . 第85回日本整形外科学会総会012.5.17-20. 京都市

43.

宮崎展行 南晋司 坂田亮介 谷口隆哉 峰巨 谷口亘 三宅悠介 岡田紗枝 中村憲 吉田宗人：経路法を用いたDall 骨片固定法 . 第 42 回日本人工関節学会, 2012.2.24-25. 宜野湾市

44.

宮崎展行 南晋司 谷口隆哉 峰巨 谷口亘 三宅悠介 岡田紗枝 吉田宗人：THA における大径骨頭は臨床成績および日常生活に影響を与えるか？ . 第 42 回日本人工関節学会, 2012.2.24-25. 宜野湾市

45.

谷口隆哉、宮崎展行、南晋司、谷口亘、峰巨、三宅悠介、吉田宗人：両側同時 TKA と片側 TKA における入院期間と退院先の比較検討 JOSKAS , 2012.7.19-21 , 沖縄

46.

谷口亘、宮崎展行、南晋司、谷口隆哉、峰巨、三宅悠介、岡田紗枝、中村憲太、吉田義隆 (80 歳以上) 人工膝置換術の術後 ADL 調査 . 第 42 回日本人工関節学会2012.1 沖縄

47.

谷口亘、杉村弥恵、瀧口登、宮崎展行、峰巨、阿部唯一、西尾尚子、吉田宗人、中塚映政：脊髄後角ニューロンの興奮性の増強 . 第7回日本整形外科学会基礎学術集会012.10 名古屋

48.

峰巨：脊髄前角におけるニコチン性アセチルコリン受容体によるシナプス伝達制御機構 . 第2回日本整形外科学会基礎学術集会2012.2. 東京

49.

峰巨、宮崎展行、阿部唯一、谷口隆哉、三宅悠介：人工股関節再置換術後の脱臼予防に対する大径骨頭使用の有効性 . 第39回日本股関節学会学術集会 , 2012.12. 新潟

50.

峰巨、宮崎展行、南晋司、谷口隆哉、谷口亘：大骨頭を用いた人工股関節再置換術の脱臼予防効果 . 第39回日本人工関節学会 , 2012.2. 沖縄

51.

峰巨、[宮崎展行](#)、[南晋司](#)、[谷口隆哉](#)、[谷口亘](#)、[三宅悠介](#)、[吉田宗人](#)：当院における院内発生骨折の分析 . 第2回日本整形外科学会学術総会 2012.5. 京都

52.

峰巨、[中塚映政](#)、[谷口亘](#)、[瀧口登](#)、[阿部唯一](#)、[宮崎展行](#)、[吉田宗人](#)：ニコチン性アセチルコリン受容体による脊髄運動ニューロンの制御機構 . 第 27 回日本整形外科学会基礎学術集会2012.10. 名古屋

53.

- 峰巨、宮崎展行、南晋司、谷口隆哉、谷口亘、三宅悠介、佐々木貴英、前田孝浩、吉田宗人：高齢者 TKA における生命予後とADL の中期成績，第 4 回日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会0]2.7. 沖縄
54.
峰巨、宮崎展行、南晋司、谷口隆哉、谷口亘：大骨頭を用いた人工股関節再置換術の脱臼予防効果に関する臨床整形外科学会学術集会・関西，2012.7. 神戸
55.
石元優々、山田宏、吉田宗人 他：一般住民における腰部脊柱管狭窄症とその身体運動機能に及ぼす影響： the Wakayama Spine Study . 第 41 回日本脊椎脊髄病学会2012.4.20 ，久留米
56.
長田圭司、橋爪洋、石元優々、山田宏、南出晃人、中川幸洋、河合将紀、筒井俊二、岩崎博、木岡雅彦、瀧口登、吉田宗人、村木重之、之、阿久根徹、吉村典子：頸椎脊柱管前後径の年代別評価～大規模一般住民コホートをを用いた頸椎管狭窄症の検討～，第 41 回日本脊椎脊髄病学会 . 2012.4.19 ，久留米
57.
長田圭司、橋爪洋、石元優々、山田宏、南出晃人、中川幸洋、河合将紀、筒井俊二、岩崎博、木岡雅彦、瀧口登、吉田宗人、村木重之、之、阿久根徹、吉村典子：頸椎X線所見と頸髄圧迫との関連～大規模住民コホートをを用いた検討～41, 日本脊椎脊髄病学会 2012.4.19 ，久留米
58.
長田圭司、橋爪洋、石元優々、山田宏、瀧口登、村木重之、岡敬之、阿久根徹、吉村典子、吉田宗人：大規模一般住民コホートにおける管前後径の検討，第85回日本整形外科学会学術総会、2012.5.20, 京都
59.
福井大輔、川上 守、中尾慎一、宮本 選、森下詔子、松岡淑子：腰椎後側方固定術におけるバイポーラーシーラーの有用性について - 前向き無作為比較 - . 第 21 回日本脊椎インストゥールメンテーション学会0]2.11. 神戸
60.
福井大輔、川上 守、中尾慎一、松岡淑子：ラット腰椎椎間関節切除による変性椎間板モデルの作成 第 27 回日本整形外科学会基礎学術集会，2012.10, 名古屋
61.
三宅悠介、宮崎展行、南晋司、谷口隆哉、峰巨、谷口亘、坂田仁郎、吉田宗人：術後感染に対するリファンピシン投与が急性副腎不全を誘発した 1 例 . 日本人工関節学会2012.2.4-5 ，沖縄
62.
三宅悠介、宮崎展行、舟津稔博、南晋司、谷口隆哉、谷口亘、峰巨、吉田宗人：膝関節最大屈曲位での patellar loosening の診断に有用であった TKA の 1 例 . JOSKAS ， 2012.7.19-21 ，沖縄
63.
三宅悠介、宮崎展行、南晋司、阿部唯一、谷口隆哉、峰巨、吉田宗人：人工股関節置換術に対する満足度の検討，日本股関節学会 8 ，新潟
64.
神埜聖治、安藤宗治、松本卓二、麻殖生和博、高見正成、山中学、玉置哲也：脊椎手術における手術部位感染の対策—真皮縫合のみとスプルを用いた皮膚縫合との比較— . 脊椎脊髄病学会2012.4.19 . 久留米
65.
神埜聖治、安藤宗治、玉置哲也、峠 康：頸椎手術の術中モニタリングにおける Br(E)-MsEP のコントロールの検討 . 第 2 回日本臨牀神経生理学会， 2012.11.9 . 東京
66.
浅井宣樹、谷口泰徳、下江隆司、吉田宗人：母趾 IP 関節に発生した粘液嚢腫の 1 例 . 第 37 回日本足の外科学会学術集会，2012.10.18,

神奈川

67.

瀧口登 , 谷口亘 , 山田宏 , 橋爪洋 , 宮崎展行, 峰巨 , 中塚映政, 吉田宗人: 腰神経の傷害部位の違いは神経障害性疼痛の発現にいかなる影響を与えるか、第2回日本整形外科学会基礎学術集会12.10. 名古屋市

68.

瀧口登 , 吉田宗人, 谷口亘 , 杉村弥恵, 西尾尚子, 中塚映政: 末梢神経傷害部位の違いから生じる根性疼痛の発現について、第10回日本疼痛学会 2012.7. 熊本市

69.

寺口真年、山田 宏、筒井俊二、岩崎 博、河合将紀、中川幸洋、南出晃人、橋爪 洋、吉田宗人: 腰椎椎間孔部狭窄の遺残による術後成績不良例の患者背景に関する聞き取り調査 41第10回日本脊椎脊髄病学会, 2012. 4, 久留米

70.

中村憲太、宮崎展行、南 晋司、坂田亮介、峰 巨、谷口 亘、三宅祐介、吉田宗人: TKA 後に脛骨脆弱性骨折を来した 例 . 第 42 回日本人工関節学会 ,2012.2. 沖縄

71.

[山中学](#) , [谷口泰徳](#) , [浅井宣樹](#) , [辻本修平](#) , [吉田宗人](#): STT 関節症に対する舟状骨遠位部分切除術の治療経験 55第10回日本手外科学会学術集会2012.4.19 -20 . 横浜市

72.

[辻本修平](#) , [谷口泰徳](#) , [下江隆司](#) , [山中学](#) , [吉田宗人](#): 病的骨折を伴った手指内軟骨腫の治療 55第10回日本手外科学会学術集会, 2012.4.19 -20 . 横浜市

73.

[辻本修平](#) , [谷口泰徳](#) , [下江隆司](#) , [浅井宣樹](#) , [吉田宗人](#): 深腓骨神経麻痺を呈した足背部ガングリオマ 例 . 第 37 回日本足の外科学会学術集会 2012.10.18, 神奈川

74.

曾根勝真弓、宮崎展行、谷口隆哉、峰巨、三宅悠介、岩橋弘樹、吉田宗人: 側臥位における術前骨盤傾斜の検討 第 39 回日本股関節学会 , 2012.12. 新潟

75.

曾根勝真弓、中川幸洋、吉田宗人、山田宏、南出晃人、河合将紀、北裏清剛、山本泰生、青木雅昭、尾崎良行: 脊髄症を呈する頸椎椎間孔狭窄に対する内視鏡下頸椎後方除圧術COA, 2012.7. 神戸

d) 地方学会

1. 山田 宏 吉田宗人 橋爪 洋 南出晃人 中川幸洋 河合将紀 岩崎 博 筒井俊二 遠藤徹 木岡雅彦 石元優々 長田圭司 瀧口登 籠谷良平 寺口真年: 脊椎内視鏡を用いた腰椎椎間孔狭窄に対する新しい手術術式の提案 . 第 9 回和歌山 MIOS フォーラム 2012.1.21 和歌山市
2. 山田 宏 吉田宗人 橋爪 洋 南出晃人 中川幸洋 河合将紀: 腰椎手術後に発生した神経障害性疼痛の臨床的特徴 . 第 118 回中部日本整形外科災害外科学会 2012.4.7 大阪市
3. 山田 宏: 腰椎椎間孔部狭窄に対する脊椎内視鏡手術の中期臨床成績 . 第 119 回中部日本整形外科災害外科学会Q12.10.6, 福井市
4. 貞方勇輔、増田研一、伊藤誠司: サッカー選手に対する足関節テーピングの効果へバランス能力に着目 西臨研スポーツ医・科学研究会, 2012 . 6 . 大阪
5. 南出晃人、吉田宗人、山田宏 , 橋爪洋 , 中川幸洋, 岩崎博: 高齢者の腰椎変性すべり症に対する内視鏡下除圧術の有用性の検討 . 第 118 回中部日本整形外科災害外科学術集会Q12. 4. 6-7. 大阪市
6. 中川幸洋 吉田宗人 山田宏 橋爪洋 南出晃人 河合将紀: 頸椎変性疾患に対する後方内視鏡手術の周術期合併症とその対策、第

- 118 回中部日本整形外科災害外科学会学術集会Q12.4.6-7 . 大阪市
7. 中川幸洋、吉田宗人、山田宏、橋爪洋、南出晃人、河合将紀：腰部脊柱管狭窄症に対する内視鏡下除圧術の成績と症例報告 . 第 118 回中部日本整形外科災害外科学会学術集会 2012.10.5-6 . 福井市
8. 河合将紀、吉田宗人、岩崎博、野村和教、筒井俊二、中尾慎一：胸椎黄色靭帯骨化症に対する内視鏡下骨化摘出術の臨床成績 . 第 119 回中部整形災害外科学会 2012.10.5-6 . 福井
9. 岩崎博、吉田宗人、山田宏、橋爪洋、南出晃人、中川幸洋：腰神経における重複 (double lesion) の頻度 . 中部日本整形外科災害外科学会 第 119 回学術集会 , 2012.10. 福井
10. 野村和教、岡田基宏、吉田宗人：脊椎内視鏡手術副産物の利用法—術中ビデオを用いた病棟スタッフへの教育— . 第 9 回和歌山最小侵襲整形外科フォーラム , 2012.1.21, 和歌山市 .
11. 野村和教、岡田基宏、吉田宗人：再手術のための経骨的椎間板摘出術 . 第 118 回和歌山県整形外科医会学術集会 , 2012.3.4, 和歌山市 .
12. 筒井俊二、山田宏、橋爪洋、南出晃人、中川幸洋、吉田宗人：腰椎変性側弯に伴う腰椎々間孔狭窄症患者における椎間孔の形態学的特徴 . 第 118 回中部日本整形外科災害外科学会学術集会Q12.4. 大阪市
13. 宮崎展行 南晋司 谷口隆哉 峰巨 谷口亘 三宅悠介 吉田宗人：THA における大径骨頭は臨床成績および日常生活に影響を与えるか？ . 第 22 回和歌山県整形外科医会 2012.3.4. 和歌山市
14. 宮崎展行, 谷口隆哉, 峰巨, 三宅悠介, 吉田宗人：人工股関節置換術における大径骨頭使用の有用性 . 第 20 回 Hip forum, 2012.7.28. 高山市
15. 宮崎展行 南晋司 谷口隆哉 峰巨 三宅悠介 吉田宗人：人工股関節置換術に対する満足度の検討 . 第 119 回中部日本整形・災害外科学会 , 2012.10.5-6. 福井市
16. 宮崎展行 南晋司 谷口隆哉 三宅悠介 峰巨 谷口亘 吉田宗人：BTB を用いたレムナントを残した前十字靭帯再建術例 . 第 9 回和歌山最小侵襲整形外科 (MIOS) フォーラム , 2012.1.21. 和歌山市
17. 峰巨：Madelung 病の一例 , 第 440 回整形外科集談会京阪神地方会, 2012.6. 大阪
18. 石元優々、山田宏 吉田宗人 他：大規模地域住民コホートをを用いた腰部脊柱管狭窄症と身体運動機能との関連：the Wakayama Spine Study . 第 118 回中部整形外科学会 , 2012.4.6 , 大阪
19. 長田圭司、橋爪洋、石元優々、山田宏、南出晃人、中川幸洋、河合将紀、筒井俊二、岩崎博、木岡雅彦、瀧口登、吉田宗人、村木重之、阿久根徹、吉村典子：大規模一般住民コホートにおける頸椎脊柱管前後径の検討—その地域差、性差、年齢差に関して— , 第 118 回中部整形災害外科学会、2012.4.7
20. 太田泰宏：観血的整復固定術を要した第 5 中手骨骨頭骨折の 1 例 . 第 19 回和歌山県整形外科医会学術集会 , 2013.1.19 和歌山
21. 福井大輔, 川上守, 中尾慎一, 松岡淑子：腰椎後側方固定術におけるバイポーラーシーラーの有用性について . 第 119 回中部日本整形外科災害外科学会 2012.10, 名古屋
- 22.

- 福井大輔, 川上 守, 中尾慎一: 腰椎分離症にみられた椎弓縦骨折の2例 119 回中部日本整形外科災害外科学会12.10, 名古屋
23.
- 福井大輔, 川上 守, 中尾慎一, 森下詔子, 松岡淑子, 門阪泰憲: 脊椎手術後患者に対するプレガバリンの有用性向き比較研究 -. 第 118 回中部日本整形外科災害外科学会012.4, 大阪
24.
- 福井大輔, 川上 守, 中尾慎一: L1/2 の椎間板ヘルニアによるL5神経根症状を呈した1例 第 118 回中部日本整形外科災害外科学会, 2012.4, 大阪
25.
- 三宅悠介, 宮崎展行, 南晋司, 谷口隆哉, 峰巨, 谷口亘, 吉田宗人, 中塚映政: 外反型変形性膝関節症に対するedge 大腿骨遠位骨切り術を行った1例, 関西関節鏡・膝研究会 2012.3.3, 大阪
26.
- 神埜聖治 安藤宗治, 松本卓二, 坂田亮介, 宮本選, 山中学, 佐々木俊二, 松本翔子, 峠 康: 経椎間孔進入による腰椎椎体間固定術 (TLIF) 後に非進入側の神経根障害が生じた例. 和歌山整形外科医会 第 22 回学術集会, 2012.3.4 . 和歌山
27.
- 岡田紗枝, 中川幸洋, 南出晃人, 岩崎 博, 吉田宗人: 頸椎前方固定術後に起こった気道閉塞の 2 例. 第 80 回和歌山医学総会, 2012.7. 和歌山
28.
- 岡田紗枝: 悪性リンパ腫による椎体破壊に対して経皮的椎弓根スクリューを用いた minimally invasive spinal stabilization(MIS) を行った 1 例. 和歌山 MIOS , 2013.1.19 和歌山
29.
- 浅井宣樹 谷口泰徳 下江隆司 吉田宗人: 母趾 MTP 関節部に発生した種子骨障害の 1 例. 第 119 回中部日本整形外科災害外科学会学術集会, 2012.10.5 , 名古屋
30.
- 浅井宣樹 谷口泰徳 吉田宗人: 外傷性外反母趾の術後に痛みを訴えた 1 例. 紀伊半島整形外科懇談会, 2012.9.22
31.
- 浅井宣樹 谷口泰徳 下江隆司 吉田宗人: 母趾多合趾症術後に内反変形をきたした一例. 近畿足の外科症例検討会, 2012.8.18 , 大阪
32.
- 瀧口登, 橋爪洋, 中川幸洋, 西秀人, 籠谷良平, 吉田宗人: 脊髄ヘルニアの2例, 第 80 回和歌山医学会総会2012.7 和歌山市
33.
- 籠谷良平, 筒井俊二, 山田宏, 橋爪洋, 南出晃人, 吉田宗人: 腰椎変性側弯を伴う腰部脊柱管狭窄症に対する内視鏡下除圧術のアウトカム - JOA scoreと JOABPEC を用いて -. 第 118 回中部日本整形外科災害外科学会学術集会012. 4. 大阪市
34.
- 寺口真年, 山田宏, 河合将紀, 筒井俊二, 前田孝浩, 吉田宗人: 脊椎内視鏡手術でサルベージが可能であった難治性腰痛とみなされていた MOB の一例. 第 9 回和歌山 MIOS 研究会, 2012. 1, 和歌山
35.
- 寺口真年 山田 宏, 筒井俊二, 吉田宗人: 腹側硬膜に発生した髄膜腫を安全かつ簡便に全摘出するための手術テクニック. 第 79 回和歌山医学, 2012. 7, 和歌山
36.
- 山東未季, 太田泰宏, 西山大介, 大寶英矢, 林未統: 大腿切断術後繰り返し創し開に対し持続陰圧吸引療法が奏効した例 第 118 回中部日本整形外科災害外科学術集会012. 4. 6-7. 大阪市
37.

中村憲太、寺尾賢秀、窪田誠治、納田和博、阿部唯一、橋本忠晃：大腿骨転子部骨折に対する骨接合術後に大腿骨頸部骨折を来した
和歌山医学会総会，2012.7. 和歌山

38.

辻本 修平 ， 谷口 泰徳 ， 下江 隆司 ， 浅井 宣樹 ， 吉田 宗人：足背部ガングリオンにより深腓骨神経麻痺を来した 1 例．第
119 回中部整形災害外科学会012.10.5-6 . 福井

39.

辻本 修平 ， 谷口 泰徳 ， 下江 隆司 ， 山中学 ， 吉田 宗人：病的骨折を伴った手指内軟骨腫の治療成績．第 118 回中部日本整形外
科災害外科学会学術集会2012. 4.6-7 . 大阪市

40.

前田 孝浩 ， 谷口 泰徳 ， 岩橋 弘樹 ， 浅井 宣樹 ， 吉田 宗人：副腱を伴った尺側手根伸筋腱脱臼の 1 例．第 118 回中部日本
整形外科災害外科学会学術集会2012. 4.6-7 . 大阪市

41.

佐々木 貴英 ， 橋爪 洋 ， 南 晋司 ， 河合 将紀 ， 吉田 宗人：頸部デスモイドに対し、重粒子線治療を行った 1 例．第 118 回中部日
本整形外科災害外科学会学術集会012. 4.6-7 . 大阪市

42.

岩橋 弘樹 ， 宮崎 展行 ， 三宅 悠介 ， 南 晋司 ， 谷口 隆哉 ， 峰 巨 ， 谷口 亘 ， 吉田 宗人：リファンピシン投与により急性副
腎機能低下症をきたした例．第 118 回中部日本整形外科災害外科学会学術集会Q12. 4.6-7 . 大阪市

43.

曾根勝真弓、宮崎展行、坂田亮介、三宅悠介、山中学、吉田宗人：先天性膝関節脱臼・過伸屈例イブ第80回和歌山医学総会
2012.7. 和歌山

44.

原田悌志：肩関節脱臼に伴う上腕骨大結節骨折に対する鏡視下手術の経験(和歌山最小侵襲整形外科(MIOS)フォーラム，2012.
1. 和歌山

45.

原田悌志、谷口泰徳、浅井宣樹、山中学、吉田宗人：Cushing 症候群に合併したKienböck 病の 1 例．第 22 回和歌山県整形外科医会
学術集会，2012. 3. 和歌山

46.

原田悌志、谷口泰徳、浅井宣樹、山中学、吉田宗人：Cushing 症候群に合併したKienböck 病の 1 例．第 118 回中部日本整形外科
災害外科学会・学術集会2012. 4. 大阪

47.

原田悌志、谷口泰徳、浅井宣樹、吉田宗人：脂肪腫に由来する管症候群の 1 例．第 80 回和歌山医学会総会，2012. 7. 和歌山

48.

原田悌志、谷口泰徳、浅井宣樹、吉田宗人：脂肪腫に由来する管症候群の 1 例．第 101 回日本形成外科学会関西支部学術集会
2012. 7. 大阪

49.

原田悌志、谷口泰徳、浅井宣樹、吉田宗人：脂肪腫に由来する管症候群の 1 例．第 119 回中部日本整形外科災害外科学会Q12.
10. 福井

e) その他（研究会等）

1. 吉田宗人：（各論）腰椎変性疾患の診断と治療（ヘルニア・腰部脊柱管狭窄症について）第101回日本整形外科学会脊椎脊髄病医
2012.8 東京都
2. 吉田宗人：（総論）脊椎内視鏡下手術について（講習）後方腰椎 日本整形外科学会第 14 回脊椎内視鏡下手術・技術講習会

2012.11. 神戸医療機器開発センター，神戸市

3. 吉田宗人，川上守，山田宏，橋爪洋，南出晃人，中川幸洋，河合将紀，岩崎博，筒井俊二：脊椎内視鏡手術，股関節鏡，手関節鏡実
和歌山県立医科大学整形外科学教室 脊椎内視鏡 cadaver seminar 2012, 2012.1
4. 吉田宗人，山田宏，南出晃人，中川幸洋，河合将紀，蜂谷裕道：腰椎模型を用いた脊椎広報内視鏡手術実習歌の浦低侵襲
脊椎外科セミナー, 2012.6
5. 吉田宗人，中川幸洋，宮崎展行：脊椎脊髄手術及び外傷・関節手術における周術期管理のピットフォールと対策 第 1 回和歌山整形
外科周術期管理セミナー ホテルグランヴィア和歌山 ，2012.11
6. 吉田宗人：ラジオ「痛い・痛い・飛んでけ！」 和歌山放送 月 1 回放送
7. 安藤宗治，玉置哲也，松本卓二，神埜聖治，山中学，佐々木俊二：頸椎椎弓形成障害の危険因子の検討．第4回脊髄機能診
断研究会2012.2. 東京
8. 安藤宗治：脊椎脊髄手術における神経モニタリング 2 鞠奈良術中モニター講習会 2012.8. 大阪
9. 石口明：第 3 回 南紀州整形外科懇話会 代表 ． 2012.7.24 ．那智勝浦町
10.
南出晃人：第 10 回脊椎脊髄病研修コース-脊椎内視鏡手術コースⅡ (内視鏡椎弓切除) の手技の基本と応用 2012. 4.22. アクロス福
岡
11.
南出晃人：第 3 回和歌の浦低侵襲脊椎外科セミナー 2012. 6. 22-23. 和歌山市
12.
中川幸洋：第 3 回和歌の浦低侵襲脊椎外科セミナー 2012.6.23 和歌山市
13.
中川幸洋：第 18 回日本最少侵襲整形外科学会 日整会 脊椎内視鏡下手術・技術認定制度教育セミナー ドライ講習
14.
山崎 悟：高齢者のひざの痛み．骨と関節の日 市民公開講座， 2012.7 ．和歌山
15.
河合将紀：内視鏡下腰椎椎間板ヘルニア摘出術 (1) ライブサージェリー．第 3 回和歌の浦低侵襲脊椎外科セミナー, 2012.6. 21-22,
和歌山
16.
河合将紀：脊椎内視鏡による最先端手術治療．ファミリーハイツわかまち落成記念講演会, 和歌山
17.
宮崎展行 阿部唯一 谷口隆哉 峰巨 三宅悠介 玉井英伸 吉田宗人：感染人工関節に対する再置換のタイミングと根拠-みなさんど
いますか?- 第 10 回紀伊半島整形外科懇話会 2012.9.22. 和歌山市
18.
宮崎展行 南晋司 谷口隆哉 峰巨 谷口亘 三宅悠介 吉田宗人： 8 の字法に山田法を追加した骨片固定法の成績 2. ドール手術
手技研究会，2012.3.31. 大阪市
19.
福井大輔，川上 守，中尾慎一，野澤有希，松岡淑子 ： 腰椎後側方固定術の展開までの手術時間、出血量低減の工夫～無作為前向き
比較研究～．第 440 回整形外科集談会 京阪神地方会 ，2012.6, 大阪
20.
福井大輔，川上 守，中尾慎一，松岡淑子 ： 第5腰椎片側分離症に対しナビゲーションシステム使用下に分離部固定術を行った 1
例．第 438 回整形外科集談会 京阪神地方会 ，2012.1, 大阪
21.
福井大輔：骨粗鬆症について 2012.6, 和歌山県立医科大学附属病院 紀北分院

22.

寺口真年、筒井俊二、前田孝弘、岩崎博、山田宏、吉田宗人：後頭骨-頸椎固定術後に嚔下障害を来たした一例．脊椎外科を学ぶ会
2, 大阪

研究費交付状況

1. 厚生労働科学研究費補助金難治性疾患克服研究事業 分担研究者 吉田宗人：脊柱靱帯骨化症に関する調査研究 課題番号：H23-難治 - 一般 -032
2. 厚生労働科学研究費補助金長寿科学総合研究事業 分担研究者 吉田宗人：膝痛・腰痛・骨折に関する高齢者介護予防のための地域代表性を有する大規模住民コホート追跡研究 課題番号：H20-長寿 - 一般 -009
3. 平成24年度科学研究費補助金(基盤研究C) 代表研究者 吉田宗人：脊髄損傷後の難治性疼痛における関与について 課題番号：23592173
4. 平成24年度特定研究助成プロジェクト 吉田宗人 山田 宏：TRP イオンチャネルによる生体反応の制御—神経系と非神経系の接点の学際的研究—
5. 平成24年度受託研究(和医大総第-24001号) 吉田宗人：高齢者運動器疾患予防対策事業に係る運動プログラム開発
6. 文部科学省科学研究費 基盤研究(C) 山田 宏：腰部脊柱管狭窄症の発症要因の解明：車両搭載型MRIを用いた地域住民コホート研究
7. 文部科学省科学研究費基盤研究(C) 橋爪 洋：腰椎椎間孔外側病変ならびにダブルクラッシュ病変における疼痛メカニズムの解明
8. 文部科学省科学研究費 若手研究 (B) 谷口巨：活性化ミクログリアが誘導する脊損後疼痛 vivo パッチクランプ法による解析
9. 平成24年度和歌山県立医科大学若手研究支援助成 峰巨：脊髄運動ニューロンに入力するコリン作動性神経系の機能解明とその脊髄損傷への関与
10. 平成24年度和歌山県立医科大学若手研究支援助成 石元優々：MRI画像上の腰部脊柱管狭窄有所見者の予後とその予測因子：住民コホートの追跡
11. 平成24年度和歌山県立医科大学若手研究支援助成 三宅悠介：脊髄後角における CGRP によるシナプス伝達制御機構の解析
12. 財団法人 整形災害外科学研究助成財団 平成23年度研究助成 長田圭司：『大規模住民コホート縦断調査を用いた頸部脊柱管狭窄の新たな基準の作成』に関する研究